

の順守を求めて、
時期に条件はなく、
転売も
ついて「駅に近づく

呉工場に技術研究所

ベンダ工業 HV部品 開発に力



完成したベンダグローバルテクニカルセンター

必要な歯車形のリングギアを生産し、マツダなど国内外のメーカーに販売。金属を曲げる独自の加工技術を持ち、世界シェアは推定2割強でトップを誇る。ただ、EVへのシフトが進めば、リングギアの需要は落ち込むと予測している。

八代一成社長は、国内の電力供給の状況から「当面、HVの普及が現実的だ」とみる。一方で「将来のエネルギー源は分からない」と語り、EVの製品開発も手掛ける。

これまで、研究開発拠点は韓国だけにあり、現地の完成車メーカーの発注に応えるために開設していた。研究所の2拠点化で成

長を目指す。八代社長は「東南アジアなどはガソリン車が主流。市場の動向を見極めつつ、シェア拡大と新分野開拓を同時に進める」と話している。

(東谷和平)

サンマルクHD 新社長に藤川氏

外食チェーンのサンマルクホールディングス(HD、岡山市北区)は16日の取締役会で、難波篤社長(43)の後任に、藤川祐樹取締役経営企画室長(32)が就く来年1月1日付のトップ人事を決めた。難波氏は取締役になる。経営体制の若返りを図り、新型コロナウイルス禍などへの対応を強化する。

藤川 祐樹氏(ふじかわ・ゆうき) 首都大学東京法学部卒。三菱UFJモルガン・スタンレー証券を経て19年、サンマルクホールディングス入社。IR担当部長や執行役員社長室副室長を経て20年6月から現職。仙台市出身。

自動車のエンジン部品など製造のベンダ工業(呉市)は、本社機能を兼ねた技術研究所「ベンダグローバルテクニカルセンター」を呉市苗代町に完成させた。年明けに本格稼働させる。ハイブリッド車(HV)向けの製品力を高め、将来は電気自動車(EV)にも対応していく計画だ。センターは鉄筋3階建て

延べ約2400平方メートル、既存の呉工場の敷地内に建設した。同工場では、HVの走行時にモーターからエンジンに動力を切り替えるためのリング状の鉄製品の生産を昨春に始めた。センターでは設計や開発に力を入れ、軽量化などに取り組みむ。センター建設の事業費は7億円。同社はエンジンの始動に

